

令和7年度 総合計画中間見直し 地域懇談会実施報告書

令和7年12月
企画部秘書政策課

1. 開催概要

○開催日程

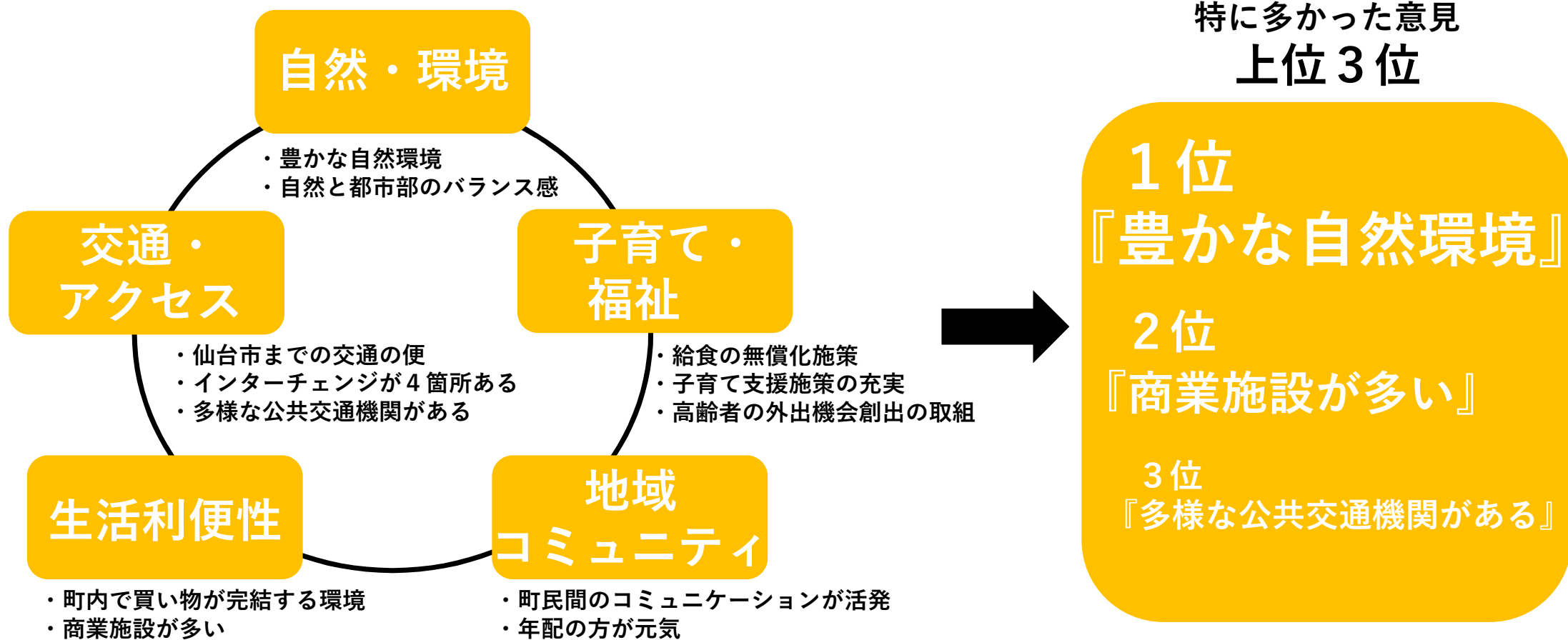
開催日時	場所	対象地区	参加者数
10月20日 (月)	リフノス 多目的ホール	沢乙、加瀬、野中一部、野中二部、町加瀬、大町、東町、館、 仲町、藤田、春日二部、新中道	14人
10月30日 (木)	総合体育館 サブアリーナ	神谷沢、菅谷一部、菅谷二部、菅谷台	18人
11月11日 (火)	赤沼公民館	春日一部、赤沼、浜田、須賀、葉山	20人
11月14日 (金)	総合体育館 サブアリーナ	しらかし台、青山、青葉台、花園、皆の丘	10人
11月17日 (月)	リフノス 多目的ホール	全地区	10人
合 計			72人

○地域懇談会の内容

- (1) 事務局説明：これまでのまちづくりについて
- (2) ワークショップ：これからの利府町に必要なこと

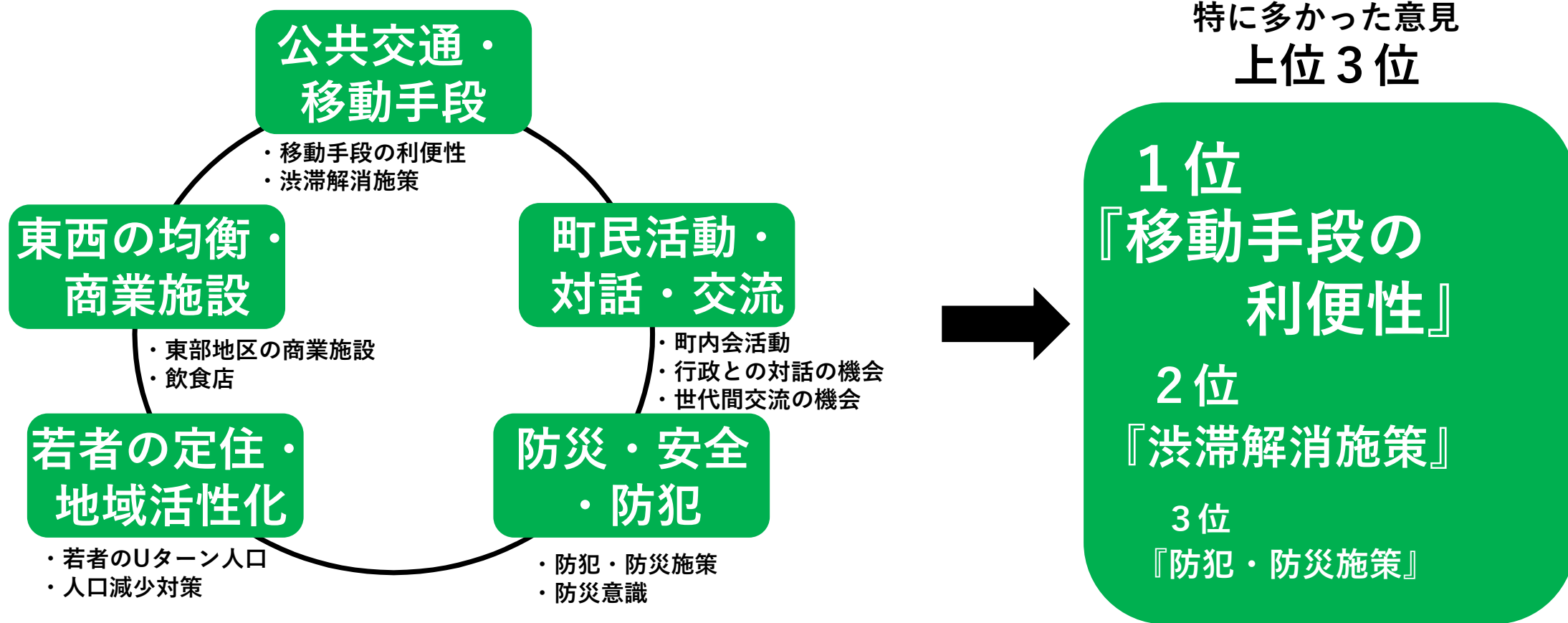
2. ワークショップで出た意見

○参加者の感じている利府町の《**良いところ**》



2. ワークショップで出た意見

○参加者の感じている利府町の《足りないところ》



2. ワークショップで出た意見

○ 《優先度、実現性ともに高い》 参加者が考えた足りないところへの対策

公共交通の利便性

- ・ バス路線の見直し、本数の増加
- ・ mobiの利便性向上（積極的な周知活動、説明会の開催）
- ・ 高齢者向け移動支援の強化

既存資源の活用

- ・ 既存施設（グランディー、リフノス等）の有効活用
- ・ グランディー北門の常時解放（渋滞対策）
- ・ 中央児童センター隣地の有効活用

行政情報等の認知

- ・ SNSによる町民団体、NPO活動の発信
- ・ LINE講習の認知拡大（公式LINE登録者数の増加）
- ・ ホームページの改善（使いやすく、わかりやすく）

住民対話の仕組み

- ・ 行政、議会、町内会の十分な対話体制の構築
- ・ 住民の声を取り入れるための定期的な意見交換

安全な生活環境

- ・ 防犯設備の整備
- ・ 熊対策

2. ワークショップで出た意見

○ 《優先度は高いが実現性が低い》 参加者が考えた足りないところへの対策

地域防災の体制

- ・ 地域防災力の強化、自助や共助の仕組み化
- ・ 防災無線の改善（聞き取りやすく）

雇用の創出

- ・ 大企業の誘致
- ・ 東部地区の開発

交通空白地帯への取組

- ・ タクシーの台数増加

宅地・住宅の供給

- ・ 東部地区の開発
- ・ アパートやマンションの整備

町内会組織の現代化

- ・ 形式的な活動から実質的活動への転換
- ・ 新旧住民の統合

2. ワークショップで出た意見

○ 《優先度は低いが実現性が高い》 参加者が考えた足りないところへの対策

空き家活用の取組

- ・ 既存ストックを活用した低コストな移住促進

馬の背周辺の観光振興

- ・ 工夫を凝らした低コストな地域資源の有効活用

高齢者への対応

- ・ 高齢者シェアハウス、交流ステーションの整備
- ・ 既存施設を活用した低コストな環境整備



3. 傾向

○世代間の課題意識

高齢者

移動手段・交流機会
の課題



- ・公共交通の充実
- ・交流ステーション
- ・近所付き合い

子育て世代

安全・教育・利便性
の課題



- ・公園の整備
- ・防犯対策の充実
- ・文化活動の充実
- ・英語教育の充実

若年層・転入者

雇用・住宅・活気
の課題



- ・企業誘致
- ・安価な住宅の整備
- ・イベントの充実

○まとめ

既存資源を活用した公共交通の充実、行政情報の積極的な発信、地域との対話、東部地区のまちづくりのあり方など、中長期的な取り組みを求める意見をいただきました。